

改訂履歴

日付	改訂	説明
2014/1/28	1.0	初版
2021/2/01	2.0	UI再設計
2022/8/31	3.0	・新機能を追加(ベンチマーク/CloneDrive)
		• 新しいOSサポートを追加
		• 新しいUIバージョンに合わせて一部のコピーを調整

目次

概要	
始めに システム要件	4
SSDツールボックスを起動する	
ドライブ情報画面	5
1: ドライブを選択	6
2: ドライブダッシュボード	6
3: S.M.A.R.T.ボタン	6
4: ドライブ詳細ボタン	6
診断スキャン	7
1: クイック診断	7
2: フル診断	7
ユーティリティ	8
1: セキュリティ消去	
2: ファームウェア更新	9
3: ツールボックスのアップグレード	9
4: ログのエクスポート	9
システムの最適化	
1: SSDの最適化	
2: OSの最適化	
システム情報	
ベンチマーク	
ドライブのクローン	

Q&A	,	
Step 5.	クローフ1と	
		10
Step 4	確認	17
Step 3.	クローンするボリューム/データを選択	
Step 2.	ターゲット先ドライブを選択	
Step 1.	ソースドライブを選択	14



始めに

ADATA SSDツールボックスは、ディスク情報を取得したり、ディスクの設定を変更できる使いやすいGUIです。SSDのパフォーマンスや耐久性を向上させることもできます。

ご注意

- ADATAツールボックスは、ADATA SSD製品の専用ツールです。
- ファームウェアのアップデートやSSDの消去を行う前には、データをバックアップしてください。
- 状況によっては、ドライブが検出されない場合があります。例えば、BIOSセットアップで「ホットプラグが 無効になっている場合などです。
- ドライブがADATA製品でない場合、一部の機能はサポートされません。

システム要件

- Windows 7/8.1/10/11 のオペレーティングシステムをサポートします。
- 本プログラムを実行するには、最低10MBの空き容量が必要です。

SSDツールボックスを起動する

ADATA SSDツールボックスは、ADATAの公式ホームページからダウンロードできます。ファイルを解凍し、「SSDTool.exe」をダブルクリックして起動します。

すべての機能はサブ画面に分類されています。サブ画面には、ドライブ情報、診断スキャン、 ユーティリティ、システム最適化、システム情報、ベンチマーク、CloneDriveの7種類がありま す。ADATA SSDツールボックスを起動した時、メイン画面にはドライブ情報画面が自動的 に表示されます。

ドライブ情報画面

この画面では、選択したドライブの詳細情報を確認できます。



1. ドライブを選択

ドロップダウンリストから任意のSSDを選択します。選択に応じてドライブダッシュボードが 表示されます。また、右側のスクロールバーを使用することで、インストールされているすべて のドライブのダッシュボードの間を移動することができます。

2. <u>ドライブダッシュ</u>ボード

ドライブダッシュボードには、ドライブの健全性、温度、残りの寿命、モデル、ファームウェア バージョン、シリアル番号、容量、およびTBW*などの情報が表示されます。(モジュールの 中は、TBW(書き込まれた合計バイト数)機能をサポートしていないものもあります。) 覧の左側にある青いバーは、現在選択されているドライブを示しています。 *TBW:書き込まれた合計バイト数

3. <u>S.M.A.R.T.ボタン</u>

「S.M.A.R.T.」ボタンをクリックするとS.M.A.R.T.テーブルが表示され、選択したドライブの 自己監視、分析、および報告技術の属性を確認できます。SSDブランドによっては、すべ てのS.M.A.R.T. 属性がサポートされていない場合があります。

4. ドライブ詳細ボタン

「ドライブ詳細」ボタンをクリックすると、ドライブに関する詳細な技術情報を確認することができます。他のADATA製品を使用すると、他の値が表示されます。

診断スキャン

2つの診断スキャンオプションから選べます。



1. クイック診断

このオプションでは、選択したドライブの空き容量に対して基本的なテストを実施します。 数分ほどかかります。

2. フル診断

このオプションでは、選択したドライブのすべての使用済み領域に対して読み取りテストを 実行し、選択したドライブのすべての空き領域に対して書き込みテストを実施します。

<u>ユーティリティ</u>

ユーティリティ画面には、セキュリティ消去、ファームウェア更新、ツールボックスのアップグレード、ログのエクスポートなど、複数のサービスが表示されます。

ADATA SSD ToolBox	アクティブドライブ: 2 デバイス XPG GA	MMIX S50	×
	診断		
 診断 ユーティリティ 	SSD XPG GAMMIX S50 PCIe Gen4 x4		
システム最適化	スキャンセートの選択: ■ クイック診断スキャン アの機能はドライブを簡単にスキャン」ます(エリアはペンダ固	有、テストに時間制限あり)、李行時間は通常2分以内です。	ELILD TO
● システム情報	 2 完全診断スキャン 2 の機能はドライブを全般的にスキャンします。テストに時間制 実行時間内々な砂絵ガスキャンとは見くたります。 	「限はありません(数百分、現行のドライブの場合1分あたり約1	
ペンチマーク CloneDrive	87%		100%
Copyright© ADATA Technology Co., Ltd. All rights reserved.		業行 (**	248

1. セキュリティ消去

「セキュリティ消去」では、選択したSSD上のすべてのデータが永久消去され、データは復 元できなくなります。この機能は、ブートドライブやパーティションがあるドライブでは実行でき ません。

ADATA SSDがセキュリティロックされている場合にセキュリティ消去のロックを解除する場合は、サードパーティツールを使用してロックを解除してください。

ロック解除用のパスワード:ADATA

ご注意

- 「セキュリティ消去」を実行する前に、すべてのパーティションを削除してください。
- セキュリティ消去の実行中は、SSDを取り外さないでください。取り外した場合、SSDがセキュリティロック状態になります。
- この操作を行うと、ドライブ上のすべてのデータが削除され、ドライブが工場出荷時の状態に復元されます。
- 「セキュリティ消去」を実行すると、ドライブの寿命が短くなります。この機能は必要な場合にのみ使用してください。
- 2. ファームウェア更新

該当するSSDファームウェアのダウンロードページに直接リンクされており、最新のFWバージョンをダウンロードすることができます。

3. ツールボックスのアップグレード

CHECK UPDATE(アップデートの確認)ボタンをクリックすると、本ソフトウェアの最新 バージョンがダウンロードされます。

4. ログのエクスポート

エクスポートボタンをクリックすると、システム情報、識別テーブル、およびS.M.A.R.Tがダウ ンロードされます。テキストログとしてのテーブル

システムの最適化

選択したSSDを最適化する方法には2つあります。SSDの最適化と

OSの最適化です。

ADATA SSD ToolBox	アクティブドライブ: 2 デバイス XPG GAMMIX S50 ~ ~
550 ドライブ情報	システム最適化
診断	SSD XPG GAMMIX S50 PCle Gen4 x4
8 1-71U71	
😥 システム最適化	■ SSD最適化 この機能は選択された SSDでTRIM コマンドを実行します。実行には数分かかります。実行にはパーテ また BNLD TO
◇ システム情報	
A KYF2-2	
CloneDrive	2 OS最適化
	最適化オプション: ●標準 以下が含まれます: Superfetch / Prefetch。
	 高度 以下が含まれます: Hibernation / NTFS Memory Usage / Large System Cache / Superfetch / Prefetch / System Files in Memory。
	後元 道用
Copyright© ADATA Technology Co., Ltd.	
zii nyite teen tee.	

1. SSDの最適化

SSDの最適化では、選択したドライブの空き領域に対するトリムサービスを提供します。 *SSDの最適化は週に1度実行することをお勧めします。

2. OSの最適化

スタンダード-基本的なOS最適化に向けて、スーパーフェッチ、プリフェッチ、自動デフラグなどの一部の設定が変更されます。

<u>システム情報</u>

現在のシステム情報、公式ヘルプへのリンク、ユーザーマニュアルのダウンロード(SSDツール ボックス)、SSD製品の登録が表示されます。

ADATA SSD ToolBox	アクティブドライブ: 2 デバイス	XPG GAMMIX S50	~	- ×
550 ドライブ情報	システム情報			t o
こ 診断	現在のバージョン	5.00.16		
ב-ד-זע <i>ד</i> י	OS: CPU: 使用可能RAM容量:	Microsoft Windows 10 家用版 x64 version 2 11th Gen Intel(R) Core(TM) i7-1165G7 @ 2.8 16005 MB	21H1, Build 19043 80GHz	
システム最適化	ヘースホートモナル: ベースボードメーカー: BIOSパージョン:	Intel Corporation BCTGL357.0048.2020.1118.2111		
システム情報				WATE YO E C FRATIONS LEO ENDAXY
A KUFR-0	ヘルプ 問題を経注し、トラブルショーティン	ユーザーマニュアル 詳細な場をガイドブックをダウンロ	登録リンク	
CloneDrive	グする方法をご覧ください。	ードしてください。	無料ソフトウェアのダウンロードや詳 細なサポートなどのすべてにアクセ スできます。	
	60	60	60	
Copyright© ADATA Technology Co., Ltd. All rights reserved.				

ベンチマーク

ベンチマーク機能を使用すると、ADATA製SSDに読み込みおよび書き込みテストを実施す ることができます。右にあるStart(開始)ボタンを押して、テストが完了するまで数秒間待 機します。

ADATA SSD ToolBox	アクティブドライブ : 2 デバイス	XPG GAMMIX S50	\sim	- ×
500 ドライブ情報	ベンチマーク			1 .
5 診断	SSD XPG GAMMIX S50 PCIe Gen4	+ x4		
ב- <u>ד</u> ועדז		7 2 Г		
システム最適化	■ 本機磁條 (C.) ×		実行	BUILD TO
システム情報	100% 4 シーケンシャル読み取り ランダム読み:	取り シーケンシャル書き込み	100%	
A KYF4-9	5342.00 мв/з 817	7.07 мв/з 4418.69 мв/з	679.59 мв/s	
CloneDrive)	
Copyright© ADATA Technology Co., Ltd. All rights reserved.	テスト結果は参考値です。実際のパフォーマンスは、使 いるソフトウェアとブラットフォームを使用して実施されたテ	用するマザーボード、CPU、M.2スロットによって異なりま *ストに基づきます。	す。SSDの遺度は、公式に発表されて	

1: テストするドライブを選択します

2: テストを開始します

- 3: 進捗状況が表示されます
- 4: SSDに実施した性能テストの結果

ご注意

- テスト結果は参考値です。
- 些能は、使用するマザーボード、CPU、M.2スロットによって異なる場合があります。
- SSDの速度は、公式記載されているソフトウェアとプラットフォームを使用して実施されたテストに基づく ものです。

<u>ドライブのクローン</u>

「ドライブのクローン」機能を使用することで、ローカルドライブ内の異なるパーティションにあるデ ータを、必要に応じて他のドライブに同期してバックアップすることができます。

ご注意

- ソース元のドライブは非ADATA製品でもかまいませんが、ターゲット先のドライブはADATA製でなければ、機能を開始できません。
- SSDにクローンすると、4Kアライメントが自動的に行われます。ディスククローニング後の転送効率に 影響を与えることはありません。
- クローンの完了後、OSを再インストールすることなくスムーズに起動するためには、まずソース元のドライ ブを取り外してから、ターゲット先のハードディスクを接続する必要があります。
- ソース元ドライブとターゲット先ドライブを同時起動に使用することはできません。同時に起動された場合、システムが解釈できなくなります。このため、ソース元ドライブを元のホストで使用するには、まずは別のホストに移動させてブートボリュームを削除する必要があります。

Step1. ソースドライブを選択

sso ドライブ情報	Cl	oneDrive - ソース	を選択					1
こ] 診断	1 2	コーン元 XPG GAM	MIX S50			~		
= -ティリティ	2 Di	k 0 - 932 GB インター	기그-그: PCle Gen 3	4 x4	4	5		
システム最適化	4	な ボリューム	ファイルシ	容量	空きスペース	空き %	説明 FFUL® = charly	
♥ システム情報	2	パーティション 1	NTES	16.00 MB	152 14 GB	76%	Windows パーティション	
7 ベンチマーク	4	パーティション 4 D:	NTFS NTFS	1.00 GB 730.24 GB	222.70 MB 729.48 GB	21% 99%	リカバリパーティション	
CloneDrive								
×								

1: データのソース元ドライブ

2: ディスク番号、合計容量、伝送インターフェース

3: パーティション容量に対する割合

4: パーティションの詳細

Step2. ターゲット先ドライブを選択

ssp ドライブ情報	Clo	oneDrive - ターゲッ	トを選択					1 1 ²
🔒 診断	1 20	」-ン先 ADATA SU	800			~		
<u>-</u> <u></u>	Dis	k 1 - 238 GB インターフ	ゴース: USB 3.0					
システム最適化	数	ボリューム	2 ファイルシ	容量	空きスペース	空き %	説明	
🏷 システム情報	2	E:	NTFS	238.28 GB	238.18 GB	99%		
7 ベンチマーク								
CloneDrive								

1: データをバックアップするターゲット先ドライブ

Step3. クローンするボリューム/データを選択



1: データのソース元ドライブとターゲット先ドライブに関する情報

2: クローンするパーティションを選択

<u>Step4. 確認</u>



1:「クローンを開始」を押してバックアップを実行

2: 注意の警告

<u>Step5. クローン化</u>

ADATA SSD ToolBox		- ×
550 ドライブ情報	CloneDrive - クローン化	1 ° 0
	クローン元 クローン先	
ع- <u>ج</u> رابير	XPG GAMMIX SS0	
システム最適化	Disk 0 - 932 GB (C:, D:) Disk 1 - 238 GB インターフェース: PCIe Gen4 x4 インターフェース: USB 3.0 データのサイズ: 268.00 MB アンターフェース: USB 3.0	
システム情報	★ SSD ToolBox ×	CREATE MARTINE LEGENDARY
A KYFR-5	クローンが完了しました。	i i j
CloneDrive		
	1 關始時刻: 12:46:41 2 經過時間: 00:00:01	
A total	3 100% 100%	
Copyright© ADATA Technology Co., Ltd. All rights reserved.	4 ¥System Volume Information¥AadRecoveryPasswordDelete¥ 1 2 3 4 5	

- 1: クローンの開始時間
- 2: 経過時間
- 3: クローンの進捗状況
- 4: 現在コピー中のフォルダファイル



ツールボックスの使用中に問題が発生した場合は、当社のサービスセンター()までお問い 合わせください